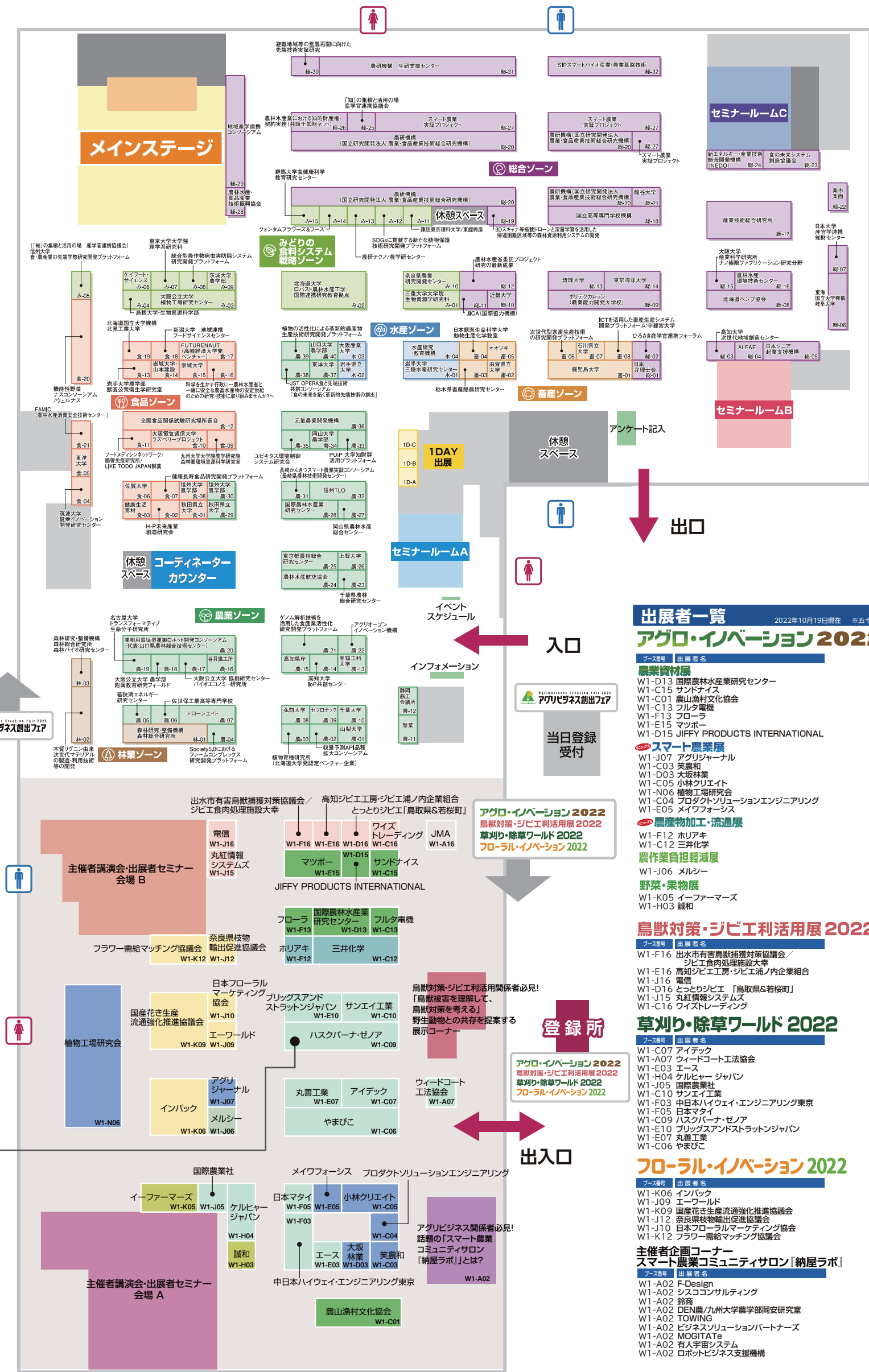


10月12日(水)時点 ※本会場案内図と実際の縮尺が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催 一般社団法人日本能率協会 **共催** 一般社団法人日本フローラルマーケティング協会

会期 2022年10月26日(水) ▶ 28日(金) 10:00
会場 東京ビッグサイト 西展示棟 1ホール 17:00

総-18	(独)国立高等専門学校機構
総-19	3Dスキャン等搭載ドローンと深層学習を活用した 帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発
総-20	農研機構(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)
総-21	(学)龍谷大学
総-22	(特非) 実市美術
総-23	(一社)食の未来システム創造協議会
総-24	(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
総-25	【知】の集積と活用場 産学官連携協議会
総-26	農林水産業における効率的財産権・契約実務(弁護士知財ネット)
総-27	スマート農業実証プロジェクト
総-28	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
総-29	地域産学連携コンソーシアム
総-30	避難地域連携等の農業再開に向けた先端技術実証研究
総-31	農研機構 生研支援センター
総-32	SIPスマートバイオ産業・農業基盤技術
総-ID-C28	(特非)産学連携学会 ※10月28日(金)のみ出展



10月26日(水) 講演会・セミナー会場 A

A26-1 みどりの食料システム戦略の推進について
農林水産省 農林水産技術会議事務局 局長 川合 豊彦

A26-2 植物工場の月面等の宇宙・極限空間への展開
千葉大学 大学院 園芸学研究院 環境調剤工学研究室 教授 後藤 英司

A26-3 どんどん売れる野菜とは？
～消費者ニーズを見える化する野菜品質評価指標「デリカスコア」と野菜健康診断～
デリカフーズ株式会社 事業統括本部 品質保証室 室長 有井 雅幸
デザイナーフーズ株式会社 代表取締役社長 市野 真理子

A26-4 スマート農業を成功に導く秘策とは
～スマート農業の本格的な普及に向けた課題への対応事例～
株式会社MOGITaE 代表取締役社長 北河 博康

A26-5 水管理システムと組み合わせたスマート水田の可能性
株式会社美農和 代表取締役 下村 豪徳

A26-6 「大きく育てるために、小さく始める」スマート農業の普及事例
～「地域の未来を創る「納屋ラボ」」とは～
ビジネスソリューションパートナーズ合同会社 代表社員・CEO 特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構 農林水産部会長 佐々木 剛

10月26日(水) 講演会・セミナー会場 B

B26-1 鳥獣被害対策・ジビエ利活用のための取組
農林水産省 農村振興局 農村政策課 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室長 阿部 尚人

B26-2 新事業！都道府県が実施する広域捕獲対策とは
～市町村からの鳥獣のSOS 都道府県はどのように救うのか？～
ワイルドライフ・サポートHARU 代表 和田 晴美

B26-3 講師として有害鳥獣駆除の現場から見た世界
わかさ29工房の取り組み事例
山恵みを食べて活かす～安全安心な国産ジビエの魅力～
これらの地域社会と獣害対策～防衛と捕獲を地域活動にする視点～
バリエーション・プログラム
有害鳥獣個体利活用の川上から川下まであるべき姿
～環境保全、鳥獣被害防止を視野に入れて～
衆議院議員 石橋 茂
一般社団法人日本ジビエ振興協会 代表理事 藤木 徳彦
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 山端 直人

B26-4 農業への新規参入をご検討の方必見！印刷会社が参入した際の事業企画とその展開とは？
小川クリエイト株式会社 アグリ事業部 課長 松林 和幸

10月27日(木) 講演会・セミナー会場 A

A27-1 効率的な輸送物流の構築に向けて
農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品流通課 食品流通課長 武田 裕紀

A27-2 フィジカルインターネットによる農産物流通の効率化
上智大学 名誉教授 荒木 勉

A27-3 輸出とブランディングの視点から不確実な時代に儲かる農業を考える
公益財団法人流通経済研究所 農業・環境・地域部門 部門長・主席研究員 折笠 健輔

A27-4 新規就農を目指す方のための就農フォーラム
東京農業大学 農学部 教授 高畑 健

A27-5 加賀最奥での農業の挑戦
一般社団法人杉木 代表理事 霜下 靖允

A27-6 新規就農への道 0からの新規就農
齋藤農園 代表 齋藤 治篤

A27-7 SDGsの達成に貢献するGAP認証
一般財団法人日本GAP協会 代表理事 野野 宏

10月27日(木) 講演会・セミナー会場 B

B27-1 農作物の流通の変化と受発注サービス「イージー」を使った今後の農業の展開
Alfrece composition株式会社(コクサヤ市場) 代表取締役 佐藤 飛鳥

B27-2 鉄道インフラの将来を見据えた最良な雑草管理
～深刻化する雑草問題にどう対応すべきか～
株式会社アセント 名古屋営業所 所長 池村 淳

B27-3 国産ジビエの魅力
～地域性・職人技・サプライチェーンが支える確かな品質～
一般社団法人日本ジビエ振興協会 代表理事 藤木 徳彦

B27-4 〔出展者セミナー〕ハスカー・ゼノア株式会社
ロボット芝草刈機とICTで「全自動草刈り」の時代へ草を「刈らない」「集めない」「廃棄しない」を実現
ハスカー・ゼノア株式会社 営業本部 GSP推進チーム チーフ 武田 恒道

B27-5 サステナブルな花生産とは？
～花を生産現場の課題と問題解決～
～花き業界のSDGs～
～世界の花き産業の動向～
日本の花き業界のSDGsはどうなっているのか？
世界では、小売側の強い要求から世界の花き生産・輸出入流通・小売・資材が集合したFSIが、2025年度に世界の花きの90%をサステナブルなものにしていこうと、労働環境改善、IPM(総合的害虫管理)、気候変動対策に取り組んでいる。
日本のトップ産地と花き産業協会の認証を進めるMPSジャパンによる日本の花き生産の現状の課題と今後の方向性についてのトークセッションです。

10月28日(金) 講演会・セミナー会場 A

A28-1 日本の花き産業の課題と今後
農林水産省 農産部 開花作物課 花き産業・施設園芸振興室長 小宮 英穂

A28-2 今、世界的な食糧危機が起こる中、SDGsで企業が日本農業を支えるCO₂削減、生活困窮者支援、障害者の次世代農業担い手等取組
一般社団法人国際SDGs推進協会 理事長 土坂 英一

A28-3 脱炭素社会を切り開く～バイオマスエネルギーが導く地域活性化の未来～
バイオマス資源を利用した地域活性化とまちづくり、地方経済創生と環境保全の共生・取組みは、急速な経済発展を続け、膨大な人口を擁しエネルギー消費や環境問題に大きな影響を与える東南アジア地域での日本の国際貢献や、SDGs時代の脱炭素社会実現、地域発展のニューモデルとして進化しました。
地域に豊富に存在する農業、牧畜、森林のバイオマス資源は、活用することで、地域に活力を与えるエネルギーとなり、さらに地域経済にプラスとなる肥料や飼料、燃料を生み出し循環型社会のモデルとして推奨されています。
また、地域林業活性化が進み、手入れの行き届いた森林は、豊かな資源を産み、きれいな空気、美味しい水を作り、多くの命を育みます。そして、災害を防ぎ、流域の食物の生産地に栄養豊富な水を供給し、住宅木材や林産製品、バイオマス燃料を安定的に生産しています。
フォーラムでは脱炭素まちづくりの全体を俯瞰し、これを実現するために、地方自治体、森林産業団体、発電事業者、金融機関をコーディネートし、地域サプライチェーンを生み出し、環境を守り地域活性化に導くバイオマスエネルギー・ソリューションビジネスを成功させたメソッドと新たな事業を仕掛けたスピリッツを解説します。

A28-4 脱炭素社会を切り開く 脱炭素地域づくりの全体像
環境省 大臣官房 地域脱炭素事業推進課長 犬丸 淳

A28-5 脱炭素社会に向け、国際農研が進めるバイオマス研究とその社会実装への挑戦
国際農研(国立研究開発法人国際農林水産業研究センター) 生物資源・利用領域 プロジェクトリーダー 小杉 昭彦

A28-6 自律分散型バイオマスエネルギーと地域コラボレーションが最大のミッションだ！2.0
Spanner株式会社 代表取締役社長 O. パルテンシュタイン

A28-7 バイオマス発電所由来「バイオ炭」の農地施用とカーボンクレジット
フォレストエナジー株式会社 代表取締役社長 賀 真吾

10月28日(金) 講演会・セミナー会場 B

B28-1 雑草問題解決へのアプローチ
～これからの雑草管理で知っておくべきこと～
特定非営利活動法人緑地雑草科学研究所 理事・事務局員・雑草インストラクター 佐佐 健介

B28-2 〔出展者セミナー〕小林クリエイト株式会社
農業への新規参入をご検討の方必見！印刷会社が参入した際の事業企画とその展開とは？
小川クリエイト株式会社 アグリ事業部 課長 松林 和幸

B28-3 野立太陽光発電施設における雑草対策の現状と課題
～長期安定稼働に不可欠な敷地管理とは～
株式会社白崎コーポレーション 東日本第1営業部第3グループ 鎌田 弘章

B28-4 花き需要の変化と今後の動向
株式会社大田花き 商品開発部 部長 穴戸 純

マッチング施策① オンラインサイト

オンラインを活用して、より多くの方にフェアの情報を発信することで、新たなマッチング機会を創出します！

●出展ブース
各出展者が持つ魅力ある技術シーズを発信！
■ 出展ブース検索(カテゴリー・技術ジャンル・キーワード)
■ 各出展者の技術シーズの紹介
■ 資料ダウンロード
■ お問い合わせフォーム

●基調講演・セミナー
農林水産・食品・技術開発等の最新情報や様々な取組事例をメインステージにて発信。
オンラインサイトでは基調講演・セミナーの参加予約を実施。

マッチング施策② コーディネーター活動

コーディネーター

〔知見と経験豊富なコーディネーターが、来場者のニーズと出展者のシーズを結び付けます〕

来場者

- ビジネスプランを実現する技術シーズを探している
- ビジネスを発展させる研究パートナーを探している
- ビジネスプランを推進する技術パートナーを探している

出展者

- ユニークな技術シーズを持っている
- 商品化目前の技術シーズを持っている
- 商品化に向けて技術シーズを発展させたい

マッチング施策③ 会場
コーディネーターカウンター設置

コーディネーターが常駐し、皆様のご要望を踏まえた出展者の紹介や具体的な技術相談等を通じ、出展者と来場者とのマッチングを支援いたします。お気軽にご相談ください！

マッチング施策④ 会場
ビジネスチャンス発掘ツアー

マッチングに向けて、コーディネーターがガイド役となり、特定のテーマに関するいくつかの出展者ブースを来場者と一緒に訪問します。
※ツアー参加希望の方は、会場内コーディネーターカウンターまでお越しください。

日程	担当コーディネーター	タイトル
26日(水)	名古屋大学 名誉教授 武田 雄 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会(ATAFF) 産学連携事業部長 農林水産省産学連携支援コーディネーター 佐藤 龍太郎	農業におけるドローン利用 「こんなところからスマートだね」 「ロフト」や「IoT」の様々な活用
27日(木)	(株)リノバ 研究開発事業部長 部長 川合 祥史 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会(ATAFF) 主任調査員 農林水産省産学連携支援コーディネーター 佐藤 龍太郎 明海大学 (特)東海地域生物系先端技術研究会 農林水産省産学連携支援コーディネーター 中山 博樹	環境調剤とアグリビジネス 試食に楽しみ！ 新素材・新機能、新技術の食品の紹介
28日(金)	新潟県 農林水産・食品産業技術振興協会(ATAFF) 主任調査員 農林水産省産学連携支援コーディネーター 佐藤 龍太郎 機構バイオテクノロジー(株) 取締役研究開発部長 小倉 重江子	新しい技術でできた有用成分と新製品のご紹介 ～データ駆動育種とゲノム編集技術の活用～

令和4年9月27日現在

基調講演

基調講演1 10.26(水) 11:45 ▶ 12:45
持続可能な食料システムへの転換と日本の役割
食料システムは、地球環境に様々な環境負荷をかけており、地球の限界(プラネタリー・バウンダリー)の枠内で世界人口を支えていくためには、食料の生産から流通、消費までの総合的な変革が急務である。また、食のバリューチェーンがグローバル化して、輸入を通じて国外に与える影響を含めた地球環境システム(グローバル・システム)を将来にわたって保全していくという観点から、食料システムの転換に向けた世界的な議論や、当センターにおける取組をご紹介します。日本が果たすべき役割についてお話しします。

東京大学 理事・未来ビジョン研究センター 教授 石井 菜穂子氏

基調講演2 10.26(水) 13:00 ▶ 14:00
農業を取り巻くグローバルトレンドとアグリビジネスの未来
農業のみならず、広く、産業をとらえ、この半世紀で主要企業の覇権が大きく変わった。1980年代には石油や自動車企業が上位を占めていたが、2020年にはこれらの企業と変わって、インターネット、オンラインを強みとする企業が現れる。ビジネスの世界には構造の変化があり、その変化を読み取り、追い風に乗ることができるかが事業の成否が決まる。農業を取り巻く環境においても、気候変動・サステナビリティへの意識の高まり、生産者の大規模化、消費者ニーズの変化、新しいアグリテック、フードテックの登場等がうねりとして生じている。本講演においては、農業を取り巻く潮流を確認しつつ、新しいビジネス機会についてご紹介いたします。

マクンゼー・アンド・カンパニー アソシエイトパートナー 農学博士 川西 剛史氏

セミナー

10.26(水) 14:15 ▶ 16:00
SIPスマートバイオ産業・農業基盤技術、ムーンショット型農林水産研究開発事業セミナー
SIPプログラムディレクター(一財)バイオインダストリー協会 参与 小林 恵明氏
農産物振興局 環境情報部 教授 神成 淳司氏
農研機構 作物研究部門所長 本 政男氏
プログラムディレクター 東京農工大学 学長 千葉一裕氏
株式会社 office 3.11 代表取締役 井出 留美氏

10.26(水) 16:15 ▶ 17:00
研究・開発で終わらない！「知」の集積と活用で生まれるイノベーションと社会実装
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室

10.26(水) 13:00 ▶ 16:00
グリーンな栽培体系を学ぶオンラインセミナー(Web)
農研機構植物防疫研究部門 領域長 長坂 幸吉氏
農研機構 センターグループ長補佐 唐澤 敏彦氏

10.26(水) 11:45 ▶ 12:45
AIや昆虫を活用した新たな技術と今後の展開
病害害AI診断コンソーシアム 土壌病害AI診断コンソーシアム
植物体情報とAIによる太陽光植物工場における農作物生産の最適化共同研究機関
農業革命コンソーシアム 花粉媒介コンソーシアム

セミナー

10.27(木) 10:30 ▶ 12:00
スマート農業の未来
～現場実装の加速化に向けて～
〔パネルディスカッション〕
〔パネリスト〕
・ 株式会社hishi 代表取締役 野口 伸氏
・ 北海道大学大学院 農学研究院 教授 藤田 晋吾氏
・ 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課長 中谷 誠氏
・ 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 副理事長

10.27(木) 13:30 ▶ 14:30
地理的表示(GI)保護制度の実務的發展
弁護士知財ネット 農水法務支援チーム 弁護士 中村 京子氏
弁護士知財ネット 農水法務支援チーム 弁護士 辻本 直規氏
株式会社湖池屋 執行役員 生産部長 柴田 祐氏
農林水産省輸出・国際局知的財産課長 松本 修一氏

10.27(木) 10:00 ▶ 12:30
新品種産業化研究会の13年、そして、次世代育種への課題と道すじ
新品種産業化研究会 副会長(農研機構 スマート農業事業推進室長) 坂井 真氏
農研機構 畑作物先端育種研究領域長 柳澤 貴司氏
新品種産業化研究会 会長 丸山 清明氏

10.28(金) 10:30 ▶ 11:15
サツマイモ基腐病の発生生態の解明と防除技術の開発
九州・沖縄農業研究センター 畑作物・野菜栽培グループ 上級研究員 小林 有紀氏

10.26 (水)				10.27 (木)				10.28 (金)			
メインステージ	セミナールームA	セミナールームB	セミナールームC	メインステージ	セミナールームA	セミナールームB	セミナールームC	メインステージ	セミナールームA	セミナールームB	セミナールームC
10:30 開会式 開											